

IV 研究活動

農場では、教員と技術職員が一体となってフィールド農学に関わる様々な研究および技術開発を推進している。また、農場は、フィールド農学の研究施設として、学部教員あるいは学部学生や大学院生の研究に広く活用され、その成果は分子生物学から農業現場直結型まで広い範囲に亘っている。

1 研究課題

1) 農場の研究課題

- ・ヤムイモの品種特性に関する研究
- ・湛水サトイモの湛水栽培に関する研究
- ・ヤムイモおよびキャッサバの遺伝資源保存
- ・ロゼルの機能性成分に関する研究
- ・パッションフルーツの機能性成分に関する研究
- ・ケナフの栽培試験（比較環境農学：志水教授との共同研究）
- ・雲南百薬の栽培試験（比較環境農学：志水教授との共同研究）
- ・黒毛和種に対する飼養管理のストレス評価
- ・野生キュウシュウジカの骨格筋および消化器官の形態的特性
- ・肥育牛へのモネンシン代替物質の給与試験
- ・草飼料100%で飼養した育成牛の発育特性
- ・黒毛和種の放牧肥育に関する研究
- ・口之島野生化牛雄の骨格筋特性に関する研究
- ・飼料添加物モネンシンの代替物質として植物由来製剤ターボピブ（フジタ薬品）の給与効果

2) 農場施設を利用した学部研究室の研究課題

(1) 学内農場農事部圃場を利用した研究課題

(作物学研究室)

- ・カンショの栽培法、生産性および品質に関する研究
- ・水稻の栽培環境反応に関する研究
- ・水稻の生育診断技術に関する研究（環境情報システム学研究室との共同研究）

(熱帯作物学研究室)

- ・サトウキビおよびトウガラシの栽培技術
- ・アフリカイネ等の稲の成育比較
- ・イネのコメ粉適用性品種比較
- ・トウガラシおよびキャッサバの栽培試験

(比較環境農学研究室)

- ・ケナフ栽培による種子、繊維の収穫や実習で行う紙すき材料の確保
- ・サボテン（ウチワサボテン、柱サボテンなど）を栽培し、鹿兒島市での適用性を検討する。
- ・ロゼル栽培研究
- ・寝太郎スイカの栽培研究
- ・ロゼル栽培研究
- ・伝統サツマイモ栽培研究
- ・伝統野菜種子の採取

(作物生態学研究室)

- ・マメ科作物の窒素固定作用に関する研究

(植物育種学研究室)

- ・水稻の農業形質、生殖隔離、耐病性に関する遺伝分析（自然科学教育研究支援センター：田浦教授との共同研究）
- ・アワの形態調査と品種保存
- ・アワ、エンドウの形態調査と品種保存
- ・ヤムイモ、サトイモとカンゾウの多様性に関する遺伝的研究・サトウキビの糖蓄積に関する品種間差異（附属農場：遠城教授、朴准教授との共同研究）

Ⅳ 研究活動

- ・ヤムイモ，ヤムビーン，ダイズとカンゾウの多様性に関する遺伝的研究・サトウキビの糖蓄積に関する品種間差異（同上）
 - ・長命草の栽培に関する研究（比較環境農学：志水教授との共同研究）
- (果樹園芸学研究室)
- ・ポンカン，アボカド，ブルーベリー，実験材料の栽培
 - ・極早生ウンシュウ，ポンカン，レイシの栽培試験
 - ・マスカディンブドウの保存
- (蔬菜園芸学研究室)
- ・桜島ダイコンに関する研究
 - ・ヤムイモ・ウコン類の繁殖および地下部肥大に関する研究（農場：遠城教授，朴准教授との共同研究）
 - ・パッションフルーツの果実品質に関する研究（農場：朴准教授との共同研究）
- (観賞園芸学研究室)
- ・ツバキ属植物の系統発生並びに新花色の育種，及びヤギによるツバキ園管理（共同研究）
 - ・ツバキ属植物の花色遺伝，及びガチョウなどによるツバキ園管理（共同研究）
 - ・トルコギキョウの新花色の育種
 - ・トルコギキョウの花形・花色の育種と切り花生産
- (害虫学研究室)
- ・チャ園におけるハマキムシ類の生物的防除
 - ・昆虫ウイルスによるチャノホソガの防除
 - ・ガチョウ放飼によるチャ園の下草管理（家畜管理学研究室と併用）
 - ・露地野菜における土着天敵を利用した害虫防除体系の確立
 - ・茶園天敵節足動物類の探索
 - ・野菜に発生するハダニ類およびそれらの天敵の生態
- (家畜管理学研究室)
- ・地域未利用資源の飼料化に関する研究：サイレージ調製および消化・代謝試験，嗜好試験など
 - ・自給飼料による舎飼いヤギの飼養体系確立に向けた研究
- (土壌科学研究室)
- ・土壌・植物根圏における揮発性有機化合物（VOC）の網羅的解析による微生物群集の評価
- (植物栄養・肥料学研究室)
- ・マイナー作物の栽培技術・施肥管理についての検討
 - ・各種研究用遺伝資源の維持・保存のための作物栽培
 - ・降雨に含まれる微量成分（過塩素酸等）の含有濃度の把握
 - ・エリアンサスの土壌肥料学的研究
- (焼酎製造学研究室)
- ・発酵食品製造実習におけるサツマイモの苗床
- (農業環境システム学研究室)
- ・環境保全型雑草制御に関する研究
- (環境情報システム学研究室)
- ・水稻の生育診断技術に関する研究（デジタル分光カメラによる連続生育監視システム開発，イネ生育環境の観測及びモデル評価）（作物学研究室と共同研究）
- (地域環境システム学研究室)
- ・IoT対応型蒸発散量推定システム構築のための現地実証試験
- (遺伝子実験施設)
- ・ワールドイネコレクションの栽培実験
 - ・アジア産イネの形質調査と品種保存
- (共通教育センター)
- ・環境に配慮した手法でサツマイモを栽培し，共通教育科目「環境ビジネス1・2」において芋ほりイベントを，共通教育科目「環境ビジネス1・2」において，焼き芋販売イベントを展開する。また，エコススイーツの販売イベントをプロデュースする。

(2) 唐湊果樹園を利用した研究課題

(果樹園芸学研究室)

- ・鹿児島在来カンキツの特性解明と利用に関する研究
- ・カンキツ類の進化および種分化に関する研究
- ・高品質カンキツ果実生産の条件解明
- ・アセロラの栽培・育種技術の改良
- ・アボカド品種の特性解明
- ・鹿児島県におけるアーモンドの生育特性の調査
- ・中間台木‘ひめこなつ’に高接ぎした少低温要求性モモ品種‘KU-PP1’および‘KU-PP2’の生育に関する研究並びに既存品種との比較試験
- ・鹿児島県における少低温要求性モモ品種の生育特性の解明

(3) 指宿植物試験場を利用した研究課題

(果樹園芸学研究室)

- ・アセロラの栽培・育種技術の改良
- ・鹿児島県におけるマンゴーの花芽分化特性に関する研究
- ・鹿児島県におけるレイシの結実特性に関する研究

(森林保護学)

- ・クサトベラにおける種子散布に関わる果実二型の遺伝様式の解明

(4) 入来牧場を利用した研究課題

(家畜繁殖学研究室)

- ・家畜の繁殖生理・人工繁殖と遺伝子改変家畜作出の研究

(家畜管理学研究室)

- ・山羊放牧による草地の植生管理
- ・シカ害防除に向けた研究協定の遂行(シカの捕獲, 発信機装置, 捕獲個体の飼育, 栄養状態把握に向けた調査など), ウシによる新飼料資源の嗜好試験

(5) 学内農場畜産部を利用した研究課題

(家畜繁殖学研究室)

- ・家畜の繁殖生理・人工繁殖と遺伝子改変家畜作出に関する研究

(家畜育種学研究室)

- ・家畜・家禽に関する遺伝育種学的研究

(家畜管理学研究室)

- ・家畜の行動管理に関する研究
- ・未利用資源の飼料化に関する研究

(栄養生化学・飼料化学研究室)

- ・脂質代謝改善効果を持つ機能性食品の研究
- ・腸内環境の改善効果を持つ機能性食品の研究
- ・未利用資源の家畜飼料化利用を目指した研究

2 研究成果

1) 農場 (2020)

(1) 論文

- A. Shimada, K. Kuramoto, B. J. Park, F. Hashimoto, and M. Yamamoto, Relationship between Temperature and Fruit Quality during Ripening Period in Passion Fruit. *Tropical Agriculture and Development*. 64 (2) 47-53. 2020
- Yoshiyuki Tomino, Masako Andoh, Yuta Horiuchi, Jiye Shin, Ryunosuke Ai, Takaki Nakamura, Mizuki Toda, Kenzo Yonemitsu, Ai Takano, Hiroshi Shimoda, Ken Maeda, Yuuji Kodera, Ichiro Oshima, Koji Takayama, Takayasu Inadome, Katsunori Shioya, Motoki Fukazawa, Kanako Ishihara, Takehisa Chuma. 2020. Surveillance of Shiga toxin-producing *Escherichia coli* and *Campylobacter* spp. In wild Japanese deer (*Cervus nippon*) and boar (*Sus scrofa*). *The Journal of Veterinary Medical Science* 82 (9): 1287-1294
- 濱田延枝, 田浦一成, 野村哲也, 中野八伯, 橋本文雄, 清水圭一, 朴炳宰, 遠城道雄. トルコギキョウの鹿児島

大学オリジナル品種作出をめじした育成系統の生育および切り花品質調査. 鹿児島大学農学部附属農場研究報告. 41:1-9. 2020

中西良孝, 辻美咲, 高山耕二, 大島一郎, 澤村篤, 佐藤健次, 日高明生. 2020. 黒毛和種去勢牛への破碎飼料用米給与が发育, 飼料利用性ならびに産肉性に及ぼす影響. 日本畜産学会報, 91 (3): 193-205

大島一郎, 柳田大輝, 野崎 郁, 石井大介, 富永 輝, 飯盛 葵, 松元里志, 片平清美, 中村南美子, 高山耕二, 中西良孝. 2020. 解碎繊維状竹粉サイレージの給与が黒毛和種去勢肥育牛の发育と枝肉特性に及ぼす影響. 日本暖地畜産学会報, 63 (2): 93-99.

*下線は農場教職員を示す。

(2) 口頭・ポスター発表

富永 輝・石井大介・柳田大輝・飯盛 葵・片平清美・松元里志・高山耕二・中西良孝・大島一郎. 牧場採草地における牧草盗食被害の現状とその防除方法の検討. 第13回日本暖地畜産学会沖縄大会 (2020年10月24日, 25日オンライン開催)

大島一郎・若杉あずさ・外山 歩・富永 輝・石井大介・柳田大輝・飯盛 葵・片平清美・松元里志・高山耕二・中西良孝. 黒毛和種去勢肥育牛用粗飼料としての竹粉サイレージの稲ワラ代替可能割合. 第13回日本暖地畜産学会沖縄大会 (2020年10月24日, 25日オンライン開催)

石井大介・野崎 郁・富永 輝・柳田大輝・飯盛 葵・片平清美・松元里志・高山耕二・中西良孝・大島一郎. 黒毛和種去勢肥育牛用粗飼料としての竹粉サイレージの短期給与が飼料利用性と産肉性に及ぼす影響. 第13回日本暖地畜産学会沖縄大会 (2020年10月24日, 25日オンライン開催)

大牟田愛・小出圭史・中村南美子・落合晋作・鈴木真理子・河合 溪・赤井克己・大島一郎・中西良孝・高山耕二. アマミノクロウサギが通り抜け可能な方形柵のサイズと仕切り板の高さは?. 第13回日本暖地畜産学会沖縄大会 (2020年10月24日, 25日オンライン開催)

中村南美子・小澤優作・富永 輝・石井大介・松元里志・稲留陽尉・塩谷克典・赤井克己・大島一郎・中西良孝・高山耕二. 草地における電気および金網併用柵のシカ侵入防止効果は?. 第13回日本暖地畜産学会沖縄大会 (2020年10月24日, 25日オンライン開催)

上蘭涼香・小澤優作・中村南美子・富永 輝・石井大介・松元里志・稲留陽尉・塩谷克典・赤井克己・大島一郎・中西良孝・高山耕二. 5段張り電気柵に対する飼育シカの行動反応. 第13回日本暖地畜産学会沖縄大会 (2020年10月24日, 25日オンライン開催)

石川健斗・中村南美子・上蘭涼香・富永 輝・石井大介・松元里志・稲留陽尉・塩谷克典・赤井克己・大島一郎・中西良孝・高山耕二. キュウシュウジカが跳び越え不可能な柵の高さと奥行幅は?. 第13回日本暖地畜産学会沖縄大会 (2020年10月24日, 25日オンライン開催)

(3) 著書

(4) 報告書

大島一郎・廣瀬潤・富永輝・飯盛葵・柳田大輝・石井大介・松元里志・片平清美・中村南美子・高山耕二・中西良孝. 2020. 焼酎粕発酵飼料給与が黒毛和種繁殖牛の繁殖性に及ぼす影響. 鹿児島大学農学部附属農場研究報告, 41: 11-15.

大島一郎・亀澤樹・狩宿友樹・柴田果歩・中村南美子・富永輝・柳田大輝・飯盛葵・石井大介・松元里志・片平清美・野上直樹・高山耕二・中西良孝. 2020. 竹製遊具としての丸太給与が舎飼い肥育豚の发育と行動に及ぼす影響. 鹿児島大学農学部学術報告, 70: 7-15.

*下線は農場教職員を示す。

(5) 商業誌

(6) 特許

(7) 博士論文

(8) 修士論文

瀬戸口智春. 2020. トゲイモの生育に及ぼす植物成長促進細菌の影響に関する研究

(9) 卒業論文

- NGUYEN THI ANH TUYET. 2020. バイオスティミュラント資材におけるヤムビーンの生育および収量への影響
 木村恒介. 2020. バイオスティミュラント (BS) 資材の茎葉散布がダイジョの生育および収量に及ぼす影響
 吉田摩周. 2020. パッションフルーツにおける茎断片培養条件の確立
 長田夏希. 2020. 鹿兒島伝統大根品種におけるカイワレダイコンとしての有用性
 待木紫苑. 2020. ダイジョ (*Dioscorea alata* L.) の光合成と収量に及ぼす酢酸処理の影響
 川野洋平. 2020. ハンダマにおけるポリフェノールの単離・同定
 橋本歩奈. 2020. パッションフルーツの種子におけるPiccatannolに関する研究
 松尾遙花. 2020. 酢酸が水耕および土耕栽培の葉菜類の生育に及ぼす影響
 西川旭. 2020. 南九州地域に生息する野生動物の肝臓微細構造
 原野菜月. 2020. 口之島野生化牛-黒毛和種間の交雑種骨格筋における組織学的特性

2) 農場を利用した研究成果 (2020年1月~12月)

(1) 論文

- H. Kodamatani, Y. Daiba, S. Morisaki, K. Ichitani, R. Kanzaki, T. Tomiyasu. 2020. Detailed investigation of methylmercury accumulation in rice grain from Hg²⁺-spiked non-contaminated paddy field soils. *Chemosphere* 247: 125827.
 D.T. Lam, K. Ichitani, R.J. Henry, R. Ishikawa. 2020. Molecular and morphological divergence of Australian wild rice. *Plants* 9: 224.
 Hamada, T., Harano, K., Niihara, R., Kitahara, H., Yamamoto, M., Vairrapan, C. S., Tani, F., Onitsuka, S., Okamura, H. 2020. Composition and monthly changes of the volatile constituents in the sour Hetsuka-daidai citrus peel. *Journal of Oleo Science*, 69 (6), 643-648
 Shimada, A., Kuramoto, K., Park, B.-J., Hashimoto, F., Yamamoto, M. 2020. Relationship between temperature and fruit quality during ripening period in passion fruit. *Tropical Agriculture and Development*, 64 (2), 47-53.
 Hidemi Oyama, Kiyoto Imamura, Shinichi Sakamoto, Kazutaka Nishi, Kotaro Kawabe, Shin Okamoto, Takeshi Honda, Kenji Oyama, Takeshi Shimogiri, Estimation of genetic parameters of defective appearances in Japanese Black heifer calves in Kagoshima, *Animal Science Journal*, 91 (1): e13338. 2020
 竹腰恵, 池永誠, 富濱毅, 野口勝憲, 境雅夫. 2020年. 焼酎蒸留残渣液によるジャガイモ種イモ浸漬処理が共存細菌群集およびそうか病菌に対する拮抗細菌に及ぼす影響. *土と微生物*. 74. 32-41.

(2) 口頭・ポスター発表

- 志水勝好・迫間圭祐 サトウキビ塩害の作用機作に関する研究 第1報 奄美大島における塩害(潮風害)を受けたサトウキビの生育と化学成分分析. 2020年, 日本作物学会第279回講演会, p.185.
 高間梨央・白澤健太・一谷勝之・安達俊輔・田中淳一・久保山勉 日本晴とKasalathのイネ品種間交雑F2集団におけるプラスチドゲノムコピー数と生重量のQTL解析. 日本育種学会第138回講演会
 萩山勇希・佐藤雅志・ヘンリーロバート・久保山勉・田浦悟・石川隆二・一谷勝之. 2020. オセアニア産AAゲノム野生イネの形態, 生理学, 遺伝的多様性. 日本育種学会第138回講演会
 三島木隆広・片野航貴・一谷勝之・Henry Robert・石川 隆二. 2020. オーストラリア野生イネにおける葍長を支配するQTL座とその表現型への効果に関する研究. 日本育種学会第138回講演会
 瀧山祐樹・萩山勇希・田浦悟・一谷勝之. 2020. イネ白葉枯病抵抗性突然変異系統の生育段階の違いによる抵抗性の差異. 日本育種学会第137回講演会
 高間梨央・安達俊輔・一谷勝之・田中淳一・久保山勉. 2020. イネ品種日本晴とKasalathの正逆交雑によって得られた雑種の生育初期に見られるヘテロシスと光合成速度. 日本育種学会第137回講演会
 Shameel Ali・阿部洋介・瀧山祐樹・田浦悟. 2020. イネ白葉枯病抵抗性突然変異系統XM6の持つ抵抗性遺伝子XA20の連鎖解析. 日本育種学会第137回講演会
 山本雅史・寺本さゆり・喜多正幸・北島 宣・香西直子. 2020. 鹿兒島県島嶼部および沖縄県の在来カンキツの調査とその保存. 日本熱帯農業学会第128回講演会. 31-32.

(3) 著書

(4) 報告書

(5) 商業誌

(6) 特許

(7) 博士論文

小山 秀美, 2020年3月, 黒毛和種の不良形質に関する遺伝育種学的研究

(8) 修士論文

江上大貴, 2020, トルコギキョウの斑入り花系統で見つかったDNA型トランスポゾンの解析

柴田有里佳, 2020, トルコギキョウの斑入り形質の遺伝とトランスポゾンの関係

谷佳那美, 2020, 美鹿児島県島嶼域在来カンキツ類のCAPS分析による類縁関係の解明および果実特性の評価

松枝弘実, 2020, 鹿児島県におけるエリアンサス栽培に関する土壌肥料学的研究

葛城翔平, 2020, 植物共存細菌の選択的SSU rRNA遺伝子増幅法における増殖効率の改善と適用可能な栽培植物の拡大

山野優花, 2020, ジャガイモそうか病病原菌と拮抗菌との増殖特性の違いを利用した病害抑制法に関する研究

(9) 卒業論文

原田加奈子, 2020, トルコギキョウのアントシアニンの単離法について

磯貝 強, 2020, トルコギキョウのアントシアニンの化学構造について

姫野歩美, 2020, トルコギキョウの顕性型緑色花系統の選抜に関する研究

貴田海月, 2020, トルコギキョウの覆輪固定系統の選抜に関する研究

大嶋千晶, 2020, トルコギキョウにおけるF3H遺伝子の解析

梶山 萌, 2020, カカオの温室栽培における基礎的研究

辻川夏樹, 2020, オカワカメの栽培技術に関する研究

黒瀬絵里奈, 2020, 桜島の火山灰が農作物の成長に及ぼす影響について

東 弘菜, 2020, 鹿児島県島嶼域におけるボタンボウフウの分布と生理および形態に関する研究

島田彩乃, 2020, *Graptopetalum paraguayense*の乾燥に対する生理および形態的特徴

有田聖矢, 2020, 喜界島原産カンキツ「シーター」の四倍体作出

茨木彩加, 2020, カンキツにおいて含核数が結実と果実品質に及ぼす影響

小名柚穂, 2020, マンゴーの花芽分化に及ぼす秋季の温度の影響

叶 和幸, 2020, アボカドにおいて開花期間中の気温条件が受精・結実に及ぼす影響

新沢愛実, 2020, モモの少低温要求性品種‘KUPP1’と‘KUPP2’の鹿児島県における生育特性

福田和俊, 2020, カンキツにおける結実条件および土壌管理が果実品質や収量に及ぼす影響

藤野裕也, 2020, アセロラの組織培養における好適条件の解明

村岡あかね, 2020, タンカン新品種‘平井Red’の果実特性と高品質カンキツの生産条件の解明

石川 琴子, 2020年3月, 鹿児島県産黒毛和種におけるNT5EのSNP遺伝子型判定に関する研究

江上 明李, 2020年3月, 鹿児島県産黒毛和種の分娩難易に関する育種学的研究

上田尚史, 2020, 指宿植物試験場に生息するネコブセンチュウ種の把握

吉田圭祐, 2020, 雨水に含まれる過塩素酸イオン濃度の把握

長田萌里, 2020, 土壌の還元化(嫌気化)に伴う土壌中難溶性臭素の可溶化の可能性

廣川侑菜, 2020, 鹿児島県におけるエリアンサス栽培に関する土壌肥料学的研究

古閑詩織, 2020, 土壌における揮発性有機化合物(VOC)の網羅的解析による微生物性の評価に関する研究

栗田紗妃, 2020, LNAオリゴヌクレオチドによるPCRクランプ技術を用いた植物共存細菌群の定量PCR法の確立

柳井瑞帆, 2020, 高効率セルロース分解・窒素固定培養系の培養初期における細菌群の構造と機能

3 研究助成

ヤマイモの窒素固定エンドファイトの解明と農業革新(2018-2021), 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B特設), (分担: 遠城道雄, 朴炳宰)

窒素固定増強遺伝子によるマメ科作物の低炭素投入型への転換(2020-2021), 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B), (分担: 遠城道雄)

乳牛個体間の社会的順位による発情発見アルゴリズムの開発(2020-2021), 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B), (分担: 大島一郎)

OATアグリオが開発したステビアを有効成分とした肥料のイモ類などに対する評価 (2019-2021). OATアグリオ株式会社.共同研究. (代表:遠城道雄)

農学部教育研究助成のため (2020-), アグリPlus. 奨学寄附金. (遠城道雄)

農学部教育研究助成のため (2020-), 仙波糖化工業株式会社. 奨学寄附金. (遠城道雄)

4 学会等活動

日本熱帯農業学会, 日本作物学会, 園芸学会, 日本農作業学会, 日本育種学会, 日本草地学会, 農業生産技術管理学会, 日本畜産学会, 日本暖地畜産学会, 日本家禽学会

5 遺伝資源の保存

農場は, わが国における温暖地, 亜熱帯, 熱帯植物及びトカラ馬, 口之島野生化牛などの希少動物の遺伝資源保存センターとしての機能を有する。各付帯施設で保有する遺伝資源は下記のとおりである。

1) 学内農事部

学内農事部では, 鹿児島県内に現存する在来種を約60品種保存している。

第27表 学内農事部で保存している野菜遺伝資源リスト

科名	品目名	学名	品種・系統名
ナス	ナス	<i>Solanum melongena</i> L.	伊敷長ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	縞ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	白ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	白中ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	白長ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	白丸ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	青丸ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	小窪ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	紫丸ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	真白ナス
	トウガラシ	<i>Capsicum annuum</i> L.	花岡コショウ
		<i>Capsicum annuum</i> L.	島コショウ
ウリ	キュウリ	<i>Cucumis sativus</i> L.	奄美ウリ
		<i>Cucumis sativus</i> L.	笠利地這
	カボチャ	<i>Cucurbita moschata</i> Duchesne ex Poir.	長トツツブル
	マクワウリ	<i>Cucumis melo</i> var. <i>makuwa</i>	甫立メロン
マメ	ダイズ	<i>Cucumis melo</i> var. <i>makuwa</i>	マクワウリ
		<i>Cucumis melo</i> var. <i>makuwa</i>	黒ウリ
		<i>Cucumis melo</i> var. <i>makuwa</i>	島ダイズ
	ササゲ	<i>Glycine max</i> (L.) Merr.	短莢
		<i>Vigna unguiculata</i> (L.) Walp.	中莢
		<i>Vigna unguiculata</i> (L.) Walp.	長莢
		<i>Vigna unguiculata</i> (L.) Walp.	雷エンドウ (上飩)
エンドウ	<i>Pisum sativum</i> L.	雷エンドウ (鹿島)	
	<i>Pisum sativum</i> L.	雷エンドウ (中飩)	
	<i>Pisum sativum</i> L.	大島在来ソラマメ (奄美大島)	
ソラマメ	<i>Vicia faba</i> L.	大島在来ソラマメ (喜界島)	
	<i>Vicia faba</i> L.		
ヒルガオ	サツマイモ	<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	シモン
		<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	種子島ゴールド
		<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	種子島ロマン
		<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	安納コガネ
		<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	安納紅
ゴマ	ゴマ	<i>Sesamum indicum</i> L.	白ゴマ
ヒガンバナ	ニンニク	<i>Allium sativum</i> L.	フル
		<i>Allium sativum</i> L.	請島

IV 研究活動

ショウガ	ショウガ	<i>Zingiber officinale</i> Rosc.	島ショウガ
アブラナ	ダイコン	<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	島
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	有良
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	佐仁
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	戸口
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	古志
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	小野津
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	松原田
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	山川
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	上別府
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	赤
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	田上
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	横川
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	国分
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	城内
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	永山
	カブ	<i>Brassica rapa</i> var. <i>rapa</i>	宝カブ
	タカナ	<i>Brassica juncea</i> var. <i>integrifolia</i>	コブタカナ
		<i>Brassica juncea</i> var. <i>integrifolia</i>	シマナ
セリ	ニンジン	<i>Daucus carota</i> subsp. <i>sativus</i>	吉野ニンジン (赤・黄)
		<i>Daucus carota</i> subsp. <i>sativus</i>	佐仁ニンジン (赤・黄)
アカザ	フダンソウ	<i>Beta vulgaris</i> var. <i>cicla</i>	フダンソウ

2) 唐湊果樹園

唐湊果樹園では、第28表に示すように、落葉果樹11種類50品種・系統、常緑果樹2種類134品種・系統、熱帯・亜熱帯果樹4種類23品種・系統を保存している。

第28表 唐湊果樹園で保存している果樹遺伝資源リスト

樹種名	学名または組み合わせ	品種・系統名
落葉果樹		
モモ	<i>Prunus persica</i> Sieb.	ちよひめ
	<i>Prunus persica</i> Sieb.	ひめこなつ
	<i>Prunus persica</i> Sieb.	はなよめ
スモモ	<i>Prunus</i> sp.	メスレー
	<i>Prunus</i> sp.	大石早生
	<i>Prunus</i> sp.	カラリ
アズ	<i>Prunus armeniaca</i>	おひさまコット
	<i>Prunus armeniaca</i>	ニコニコット
ウメ	<i>Prunus mume</i> Sieb.	南高
	<i>Prunus mume</i> Sieb.	鶯宿
	<i>Prunus mume</i> Sieb.	竜峡小梅
ブドウ	<i>Vitis</i> sp.	キャンベル アーリー
	<i>Vitis</i> sp.	翠峰
	<i>Vitis</i> sp.	シャイン マスカット
	<i>Vitis</i> sp.	サンヴェルデ
カキ	<i>Diospyrus kaki</i> L.	平核無
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	富有
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	次郎
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	禪寺丸

	<i>Diospyrus kaki</i> L.	太秋
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	新秋
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	西村早生
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	ロウヤ柿
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	常葉柿
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	刀根早生
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	大核無
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	丹麗
ブルーベリー	<i>Vaccinium</i> sp.	ホームベル
	<i>Vaccinium</i> sp.	ウッタード
	<i>Vaccinium</i> sp.	ティフブルー
	<i>Vaccinium</i> sp.	クライマックス
	<i>Vaccinium</i> sp.	パールリバー
	<i>Vaccinium</i> sp.	オースチン
	<i>Vaccinium</i> sp.	ブライトウェル
	<i>Vaccinium</i> sp.	マグノリア
	<i>Vaccinium</i> sp.	ジャージー
	<i>Vaccinium</i> sp.	ブラッデン
	<i>Vaccinium</i> sp.	ジョージアジム
	<i>Vaccinium</i> sp.	オニール
	<i>Vaccinium</i> sp.	シャープブルー
	<i>Vaccinium</i> sp.	T100
クリ	<i>Castanea</i> Miller	筑波
	<i>Castanea</i> Miller	三原系
	<i>Castanea</i> Miller	丹沢
	<i>Castanea</i> Miller	ぼろたん
イチヨウ (ギンナン)	<i>Ginkgo biloba</i> L.	藤九郎
	<i>Ginkgo biloba</i> L.	嶺南
	<i>Ginkgo biloba</i> L.	久寿
ザクロ	<i>Punica granatum</i> L.	在来系
クワ	<i>Morus</i> sp.	しだれぐわ
常緑果樹		
ビワ	<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	茂木
	<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	長崎早生
	<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	なつたより
カンキツ	<i>Citrus macroptera</i> Mont.	カブヤオ
	<i>C. hystrix</i> DC.	プルット
	<i>C. latipes</i> (Swing.) Tan.	カシーパバダ
	<i>C. aurantifolia</i> (Christm.) Swing.	メキシカンライム
	<i>C. limettioides</i> Tan.	スイートライム
	<i>C. bergamia</i> Risso et Poit.	ベルガモット
	<i>C. latifolia</i>	タヒチライム
	<i>C. Montana</i> Tan.	ビロロ
	<i>C. excelsa</i> Wester	レモンリアル
	<i>C. medica</i> L.	ブッシュカン
	<i>C. medica</i> L.	マルブッシュカン
	<i>C. limon</i> (L.) Burm. f.	アレンユーレカ
	<i>C. limon</i>	ビアフランカ
	<i>C. limon</i>	イエローベル
	<i>C. limon</i>	璃の香
	<i>C. limetta</i> Risso	スイートレモン

<i>C. balotina</i> Poit. et Turp.	バロチンベルガモット
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	安政柑
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩王柑
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	チャンドラー
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	はやさき
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	紅まどか
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	水晶文旦
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩白柚
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	麻豆紅柚
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	土佐文旦
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	大橋
<i>C. pseudogulgul</i> Hort. ex Shirai	ジャガタラク
<i>C. paradise</i> Macf.	マーシュ シードレス
<i>C. paradise</i> Macf.	オロブランコ
<i>C. paradise</i> Macf.	ルビー
<i>C. hassaku</i> Hort. ex Tan.	農間紅ハッサク
<i>C. medioglobosa</i> Hort. ex Tan.	ナルト
<i>C. natsudaidai</i> Hayata	川野なつだいだい
<i>C. natsudaidai</i> Hayata	紅甘夏
<i>C. ampullaceal</i> Hort. ex Tan.	ヒョウカン
<i>C. yamabuki</i> Hort. ex Y. Tanaka	ヤマブキ
<i>C. kawachiensis</i> Hort. ex Y. Tanaka	カワチバンカン
<i>C. aurantium</i> L.	カブス
<i>C. aurantium</i> L.	回青橙
<i>C. aurantium</i> L.	斑入りダイダイ
<i>C. myrtifolia</i> Rafin.	キノット
<i>C. rokugatsu</i> Hort. ex Y. Tanaka	ロクガツミカン
<i>C. canaliculata</i> Hort. ex Y. Tanaka	キクダイダイ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ハムリン
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	トロビタ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	オランダ バレンシア
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	タロッコ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	モロ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ピラリマ
<i>C. tankan</i> Hayata	垂水1号
<i>C. tankan</i>	名護紅早生
<i>C. iyo</i> Hort. ex Tanaka	宮内伊予柑
清家ネーブル × クレメンティン	ありあけ
宮川早生 × トロビタオレンジ	清見
交雑親不詳のタンゴール	マーコット
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	ヒュウガナツ
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	オレンジ日向
<i>C. aurea</i> Hort. ex Tan	カワバタミカン
<i>C. ichangensis</i> Swing.	イーチャンジェンシス
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	山根
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	ユズ
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	木頭ユズ
<i>C. hanaju</i> Hort. ex Shirai	ハナユ
<i>C. sudachi</i> Hort. ex Shirai	スダチ
<i>C. sudachi</i>	元寇
<i>C. spaerocarpa</i> Hort. ex Tan.	カボス
学名不明	平兵衛酢
<i>C. nobilis</i> Lour.	クネンボ
<i>C. nobilis</i> Lour.	トクニン
<i>C. unshiu</i> Marc.	原木(4代目)
<i>C. unshiu</i> Marc.	青島温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	寿太郎温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	白川温州

	<i>C. unshiu</i> Marc.	十万温州
	<i>C. unshiu</i> Marc.	石地温州
	<i>C. unshiu</i> Marc.	大津4号
	<i>C. unshiu</i> Marc.	興津早生
	<i>C. unshiu</i> Marc.	宮川早生
	<i>C. unshiu</i> Marc.	かごしま早生
	<i>C. keraji</i> Hort. ex Tan.	ケラジ
	<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	喜界ミカン
	<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	ナツクニン
	<i>C. oto</i> Hort. ex Y. Tanaka	オートー
	<i>C. reticulata</i> Blanco	吉田ボンカン
	<i>C. reticulata</i> Blanco	薩州
	<i>C. deliciosa</i> Ten.	地中海マンダリン
	<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ゲンショウカン
	<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ウスカワ
	<i>C. tangerina</i> Hort. ex Tan	大紅ミカン
	<i>C. clementina</i> Hort. ex Tan.	クレメンティン
	<i>C. tachibana</i> (Mak.) Tan.	タチバナ
	<i>C. kinokuni</i> Hort. ex Tan.	キノクニ
	<i>C. sunki</i> Hort. ex Tan.	スンキ
	<i>C. reshni</i> Hort. ex Tan.	クレオパトラ
	<i>C. depressa</i> Hayata	シイクワシャー
	<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン (甘)
	<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン (辛)
	<i>C. leiocarpa</i> Hort. ex Tan.	コウジ
	<i>C. flaviculpus</i> Hort. ex Tanaka	キミカン
	<i>C. sp.</i>	コズ
	<i>C. sp.</i>	島みかん (黒島)
	キング×地中海マンダリン	アンコール
	クレメンティン×ダンシータンゼリン	フォーチュン
	小西早生×フェアチャイルド	サガマンダリン
	キング×ウンシュウミカン	カーラ
	三保早生×クレメンティン	南香
	今村温州×中野3号ボンカン	早香
	クレメンティン×オーランド	ノバ
	ミネオラ×クレメンティン	ページ
	清見×中野3号ボンカン	陽香
	清見×中野3号ボンカン	不知火
	清見×ボンカンF-2432	はるみ
	清見×アンコール	あまか
	(清見×興津早生) ×ページ	天草
	(清見×アンコール) ×マーコット	せとか
	清見×興津早生	津之香
	上田温州×ハッサク	スイートスプリング
	ダンカングレープフルーツ×ダンシータンゼリン	ミネオラ
	津之望×育成系統No.1408	みはや
	<i>C. madurensis</i> Lour.	シキキツ
	<i>C. sp.</i>	辺塚ダイダイ
	<i>C. sp.</i>	小林みかん
キンカン	<i>Fortunella hindsii</i> (Champ.) Swing.	キンズ
	<i>F. margarita</i> (Lour.) Swing.	ナガキンカン
	<i>F. japonica</i> (Thumb.) Swing.	マルキンカン
	<i>F. crassifolia</i> Swing.	ニンポウキンカン
	<i>F. obovata</i> Tan.	チョウジュキンカン
	<i>F. margarita</i> X <i>F. crassifolia</i>	ぷちまる
カラタチ	<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ルビドー

<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.		ヒリュウ
熱帯・亜熱帯果樹		
パッションフルーツ	<i>Passiflora edulis</i> × <i>P. edulis</i> P. <i>Plavicarpa</i>	サマークイーン
	<i>Passiflora edulis</i> × <i>P. edulis</i> P. <i>Plavicarpa</i>	ルビースター
	<i>Passiflora edulis</i>	アマミノジャンボウ
	アセロラ	
	<i>Malpighia emergunata</i> DC.	フローロブランカ
	<i>Malpighia emergunata</i> DC.	フロリダスイート
アボカド		
	<i>Persea americana</i> Mill	フェルテ
	<i>Persea americana</i> Mill	エッディングガー
	<i>Persea americana</i> Mill	ハス
	<i>Persea americana</i> Mill	グエン
	<i>Persea americana</i> Mill	リード
	<i>Persea americana</i> Mill	ペーコン
	<i>Persea americana</i> Mill	Lamb Has
	<i>Persea americana</i> Mill	ピンカートン
	<i>Persea americana</i> Mill	ズダーノ
リュウガン		
	<i>Euphoria longan</i> Stend	N93-6
	<i>Euphoria longan</i> Stend	カーラ
	<i>Euphoria longan</i> Stend	ハエウ
	<i>Euphoria longan</i> Stend	シーチョンプー
	<i>Euphoria longan</i> Stend	エワイ
	<i>Euphoria longan</i> Stend	ビオキウ
	<i>Euphoria longan</i> Stend	サキップ
	<i>Euphoria longan</i> Stend	タイウエン
	<i>Euphoria longan</i> Stend	フンカク

3) 指宿植物試験場

当場では1918年の設置以来、現在に至るまで、熱帯・亜熱帯植物の収集・保存を行い、教育研究に利用するとともに、地域への普及を行っている。これまで、マンゴー、パッションフルーツなどの熱帯果樹類や熱帯産ヤムイモなどが、南九州で特産化されている。

遺伝資源植物として保存している植物数は、品種や系統も含めると約600種類である。これらは、鉢や露地植えで保存されており、面積ベースでは、温室の60%、ビニルハウスの50%、圃場の25%である。単純計算であるが、教職員はこれら遺伝資源植物の維持、管理に全体の作業の45%程度の時間を割いていることになる。一方で、遺伝資源植物からの収入は、全体の15%程度である。

遺伝資源植物の保存、評価、利用なども附属農場の重要役割のひとつであるが、教職員数と比較した場合の労力や予算的な面からもほぼ限界の状況である。とくに果樹類などは実生系など品種が明確でないものも多く、それらは、結実が見られないものも多い。地域農業への貢献のためにも、明確な品種と生産性の可能性がある熱帯・亜熱帯果樹類への切り替えを進めている。

第29表 指宿植物試験場で保存している主な植物遺伝資源リスト

科名	和名	学名	品 種
アオイ科			
	ピンボンノキ	<i>Sterculia nobilis</i> Sm.	マダムフランシス
	カカオ	<i>Theobroma cacao</i> Linn.	
アカテツ科			
	サボジラ	<i>Achras zapota</i> L.	
	クダモノタマゴ	<i>Lucuma nervosa</i> A.D.C.	
	ミラクルベリー	<i>Synsepalum dulcificum</i> Daniell	
	アビウ	<i>Pouteria caimito</i> Radlk.	白綿綿
	カニステル	<i>Pouteria campechiana</i> (H.B.K.) Baehni	
	スイシヨウガキ	<i>Chrysophyllum cainito</i> Linn.	

アカネ科	イクソラ・ダフィー	<i>Ixora duffii</i> T.Moore	
	コーヒーノキ	<i>Coffea</i> spp.	
イネ科	レモングラス	<i>Cymbopogon citratus</i> (DC.) Stapf	
	スズコナリヒラ	<i>Sinobambusa tootsik</i> Makino f. <i>albostriata</i> Muroi	
	ベチバー	<i>Vetiveria zizanioides</i> (L.) Roberty	
イイギリ科	ラブリーアップル	<i>Dovyalis abyssinica</i> Warb.	
イラクサ科	ペリオニア	<i>Pellionia</i> spp.	
	アサバソウ	<i>Pilea cadierei</i> Gagnep. et Guillaum.	
ウコギ科	ホンコンカボック	<i>Schefflera arboricola</i> (Hayata) Hayata ex Kaneh.	
ウラボシ科	コウモリラン	<i>Platyserium bifurcatum</i> (Cav.) C. Chr.	
ウルシ科	マンゴー	<i>Mangifera indica</i> L.	アーウィン
		<i>Mangifera indica</i> L.	リペンス
		<i>Mangifera indica</i> L.	タハール
		<i>Mangifera indica</i> L.	マダムフランシス
		<i>Mangifera indica</i> L.	ケント
		<i>Mangifera indica</i> L.	トルベット
		<i>Mangifera indica</i> L.	エドワード
		<i>Mangifera indica</i> L.	ケンジントンプライド
		<i>Mangifera indica</i> L.	ラッド
		<i>Mangifera indica</i> L.	バンダイク
		<i>Mangifera indica</i> L.	メラウィン
		<i>Mangifera indica</i> L.	ドット
		<i>Mangifera indica</i> L.	コム
		<i>Mangifera indica</i> L.	トミーアトキンス
		<i>Mangifera indica</i> L.	グレン
		<i>Mangifera indica</i> L.	バレンシアプライド
		<i>Mangifera indica</i> L.	マグジャミン
		<i>Mangifera indica</i> L.	スピリット オブ 76
		<i>Mangifera indica</i> L.	フロリゴン
		<i>Mangifera indica</i> L.	フロリジェン
		<i>Mangifera indica</i> L.	ラポザ
		<i>Mangifera indica</i> L.	リリー
		<i>Mangifera indica</i> L.	ランセティーラ
		<i>Mangifera indica</i> L.	ゴウベイヤ
		<i>Mangifera indica</i> L.	STマウイ
		<i>Mangifera indica</i> L.	ニールキラン
		<i>Mangifera indica</i> L.	ハッチャー
		<i>Mangifera indica</i> L.	ジレイト
		<i>Mangifera indica</i> L.	R2E2
		<i>Mangifera indica</i> L.	ホワイトピリー
		<i>Mangifera indica</i> L.	ナムドクマイ
		<i>Mangifera indica</i> L.	ルビー
		<i>Mangifera indica</i> L.	レイト
		<i>Mangifera indica</i> L.	ベリーーズマルベル
		<i>Mangifera indica</i> L.	スプリングフェルス
		<i>Mangifera indica</i> L.	ゴールデンリペンス
		<i>Mangifera indica</i> L.	ジル
		<i>Mangifera indica</i> L.	キーツ
		<i>Mangifera indica</i> L.	チョコナン
		<i>Mangifera indica</i> L.	KEOJAE

	<i>Mangifera indica</i> L.	キョサワイ
	<i>Mangifera indica</i> L.	マハチャノク
	<i>Mangifera indica</i> L.	アルフォンソ
	<i>Mangifera indica</i> L.	ニーラム
	<i>Mangifera indica</i> L.	ケサー
	<i>Mangifera indica</i> L.	蜜煌
	<i>Mangifera indica</i> L.	蘋果文
	<i>Mangifera indica</i> L.	貴妃
	<i>Mangifera indica</i> L.	慢愛文
	<i>Mangifera indica</i> L.	杉林
	<i>Mangifera indica</i> L.	台農二號
	<i>Mangifera indica</i> L.	紅金煌
	<i>Mangifera indica</i> L.	黒香
	<i>Mangifera indica</i> L.	玉文
	<i>Mangifera indica</i> L.	紅象牙
	<i>Mangifera indica</i> L.	麩中
	<i>Mangifera indica</i> L.	紅龍
	<i>Mangifera indica</i> L.	玉文 6 号
	<i>Mangifera indica</i> L.	金一
	<i>Mangifera indica</i> L.	農民黨 1 號
	<i>Mangifera indica</i> L.	紅凱特
	<i>Mangifera indica</i> L.	海頓
	<i>Mangifera indica</i> L.	世界一
	<i>Mangifera indica</i> L.	ハナミツ
	<i>Mangifera indica</i> L.	メキシコカラバオ
	<i>Mangifera indica</i> L.	キンコウ
	<i>Mangifera indica</i> L.	キンミツ
オシロイバナ科		
ブーゲンビレア	<i>Bougainvillea</i> spp.	
オトギリソウ科		
マンゴスチン	<i>Garcinia mangostana</i> L.	
ガガイモ科		
スタベリア	<i>Stapelia</i> spp.	
カキノキ科		
ブラックサボテ	<i>Diospyros nigra</i> Blanco	
カタバミ科		
スターフルーツ	<i>Averrhoa carambola</i> L.	シルク
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	指宿スター
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	カリイ
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	カイラ
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	ハノイ
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	大王
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	ビーナス
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	ベル
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	Thai
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	Bintan
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	Momoreia
ナガバノゴレンシ	<i>Averrhoa bilimbi</i> Linn.	
カヤツリグサ科		
カミガヤツリ	<i>Cyperus papyrus</i> L.	
キク科		
スイゼンジナ	<i>Gynura bicolor</i> DC.	
キツネノマゴ科		
ルリハナガサ	<i>Eranthemum pulchellum</i> Andr.	
アトロプルプレウム	<i>Pseuderanthemum atropurpureum</i> (Bull) L. H. Bailey	
コダチヤハズカズラ	<i>Tunbergia erecta</i> (Benth.) T. Anderson	
ベンガルヤハズカズラ	<i>Tunbergia grandiflora</i> (Rosb. ex Rottl.) Rpxb.	

キョウチクトウ科

アデニウム	<i>Adenium</i> spp.
オオバナアリアケカズラ	<i>Allamanda cathartica</i> L.
ヒメアリアケカズラ	<i>Allamanda nerifolia</i> Hook.
セイヨウキョウチクトウ	<i>Nerium oleander</i> L.
キバナキョウチクトウ	<i>Thevetia peruviana</i> (Pers.) K. Schum.
インドソケイ	<i>Jasminum grandiflorum</i> Linn.

キントラノオ科

アセロラ	<i>Malpigia glabra</i> L.	Hawaiian Sweet
	<i>Malpigia glabra</i> L.	Hawaiian Queen
	<i>Malpigia glabra</i> L.	Florida Sweet
	<i>Malpigia glabra</i> L.	Maunawilli
	<i>Malpigia glabra</i> L.	Rehnborg
	<i>Malpigia glabra</i> L.	Red Jumbo
	<i>Malpigia glabra</i> L.	Tropical Ruby
	<i>Malpigia glabra</i> L.	F. Haley
	<i>Malpigia</i> sp.	つる性
	ヒイラギトラノオ	<i>Malpigia coccigera</i> L.
アメイシア	<i>Bunchosia armeniaca</i> (Cav.) DC	

クスノキ科

アボガド	<i>Persea americana</i> Milll.	メキシコーラ
	<i>Persea americana</i> Milll.	チョコケテ
	<i>Persea americana</i> Milll.	サンミゲル
	<i>Persea americana</i> Milll.	シモンズ
	<i>Persea americana</i> Milll.	ラムハス
	<i>Persea americana</i> Milll.	カビラキイロ
	<i>Persea americana</i> Milll.	グエン
	<i>Persea americana</i> Milll.	ウィンターメキシカン
	<i>Persea americana</i> Milll.	グリーンゴールド
	<i>Persea americana</i> Milll.	ピンカートン
	<i>Persea americana</i> Milll.	ロレッタ
	<i>Persea americana</i> Milll.	マラマ
	<i>Persea americana</i> Milll.	ミゲル
	<i>Persea americana</i> Milll.	ヤマガタ
	<i>Persea americana</i> Milll.	カハルー
	<i>Persea americana</i> Milll.	ベーコン
	<i>Persea americana</i> Milll.	フェルテ
	<i>Persea americana</i> Milll.	エッティンガー
	<i>Persea americana</i> Milll.	ズタノ
	<i>Persea americana</i> Milll.	ホアンホセ
<i>Persea americana</i> Milll.	フルスマ	
<i>Persea americana</i> Milll.	セルパ	
<i>Persea americana</i> Milll.	黒金	
<i>Persea americana</i> Milll.	九五	
<i>Persea americana</i> Milll.	加林1号	
<i>Persea americana</i> Milll.	紫フェルテ	
<i>Persea americana</i> Milll.	ミヤサコB	
<i>Persea americana</i> Milll.	ミヤサコ2号	

クマツヅラ科

ハリマツリ	<i>Duranta repens</i> L.
ペトレア	<i>Petrea vollubilis</i> L.

クロウメモドキ科

インドナツメ	<i>Zizyphus mauritiana</i> Lam.	蜜ナツメ
	<i>Zizyphus mauritiana</i> Lam.	雪蜜

ナツメ	<i>Zizyphus jujuba</i> var. <i>inermis</i>
-----	--

クワ科

カンテンイタビ	<i>Ficus awkeotsang</i> Makino
---------	--------------------------------

IV 研究活動

インドゴムノキ	<i>Ficus elastica</i> Roxb. ex Hornem.
カシワバゴム	<i>Ficus lyrata</i> Warb.
ガジュマル	<i>Ficus microcarpa</i> L. f.
オオイタビ	<i>Ficus pumila</i> L.
アコウ	<i>Ficus superba</i> Miq. var. <i>japonica</i> Miq.
パンノキ	<i>Artocarpus altilis</i> Fosb.
フィカスウンベラータ	<i>Ficus umbellata</i> Vahl.
ゴマノハグサ科	
ハナチョウジ	<i>Russelia equisetiformis</i> Schlechtend et Cham.
サトイモ科	
ヒトスジグサ	<i>Aglaonema costatum</i> N. E. Br.
アグラオネマ	<i>Aglaonema</i> spp.
クワズイモ	<i>Alocasia odora</i> K.Koch
オオベニウチワ	<i>Anthurium andreanum</i> Linden corr. Andre
サトイモ	<i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott
ジャイアントスワンブタロ	<i>Cyrtosperma chamissonis</i> (Schott) Merrill
ホウライシヨウ	<i>Monstera deliciosa</i> Liebm.
マドカズラ	<i>Monstera friedrichsthali</i> Schott
スパティフィラム	<i>Spathiphyllum</i> spp.
サボテン科	
ドラゴンフルーツ	<i>Hylocereus undatus</i> (Haworth) D.R.Hunt
シソ科	
クミスクチン	<i>Orthosiphon aristatus</i> (Blume) Miq.
シノブ科	
タマシダ	<i>Nephrolepis cordifolia</i> (L.) K. Presl
ショウガ科	
ゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.) B.L.Burtt et R.M.Sm.
キフゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.) B.L.Burtt et R.M.Sm. 'Variegata'
フクジンソウ	<i>Costus speciosus</i> (J.Konig) Sm.
キョウオウ	<i>Curcuma aromatica</i> Salisb.
ウコン	<i>Curcuma longa</i> L.
ガジュツ	<i>Curcuma zedoaria</i> (Christm) Roscoe
スイカズラ科	
ゴモジュ	<i>Viburnum suspensum</i> Lindl.
センダン科	
ランサット	<i>Lansium domesticum</i> Jack.
タコノキ科	
アダン	<i>Pandanus tectorius</i> Soland.ex Balf.f.
タデ科	
ハマベブドウ	<i>Coccoloba uvifera</i> (L.) L.
ソテツ科	
ナンヨウソテツ	<i>Cycas circinalis</i> L.
ソテツ	<i>Cycas revoluta</i> Thunb.
ツツジ科	
ケラマツヅジ	<i>Rhododendron scabrum</i> G. Don
ツユクサ科	
ムラサキオモト	<i>Rhoeo spathacea</i> (Swartz) Stearn
トウダイグサ科	
クロトン	<i>Codiaeum variegatum</i> (L.) Blume
ハナキリン	<i>Euphorbia milii</i> Desmoul. var. <i>splendens</i> (Bojer ex Hook.) Ursch et Leandri
アオサンゴ	<i>Euphorbia tirucalli</i> L.
ナンヨウザクラ	<i>Jatropha integerrima</i> Jacq.
サンゴアブラギリ	<i>Jatropha podagrica</i> Hook.
セッカギンリュウ	<i>Pedilanthus tithymalodes</i> (L.) Poit.
ククイナツツ	<i>Aleurites moluccana</i> Wild.
タンポイ	<i>Baccaurea macrocarpa</i> (Miq.) Müll. Arg.

トケイソウ科

ムラサキクダモノトケイソウ	<i>Passiflora edulis</i> Sims.	
パッションフルーツ	<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	サマーキーン
	<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	ルビースター
	<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	アマミノジャンボウ
	<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	博芳
	<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	キングルビー
	<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	南十字星
	<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	八重山黄色
	<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	台湾黄色
	<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	石垣キング
	<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	Ma dois
マリフォルミス	<i>Passiflora maliformis</i> L.	
ミズレモン	<i>Passiflora laurifolia</i> L.	2 n
	<i>Passiflora laurifolia</i> L.	4 n

ナス科

ニオイバンマツリ *Brunfelsia australis* Benth.

ナンヨウスギ科

シマナンヨウスギ *Araucaria heterophylla* (Salisb.) Franco

ノウゼンカズラ科

ハリミノウゼン *Clytostoma callistegioides* (Cham.) Bur.

ジャカラнда *Jacaranda* sp.

イベ *Tabebuia* sp.

ソーセージノキ *Kigelia Africana* (Lam.) Benth

パイナップル科

パイナップル *Ananas comosus* (Linn.) Merr.

チランジア *Tillandsia* spp.

サルオガセモドキ *Tillandsia usneoides* (L.) L.

バショウ科

バナナ *Musa* spp.

ニコライ *Strelitzia niccolai* Regel et Korn.

ゴクラクチョウカ *Strelitzia reginae* Ait.

ユンケア *Strelitzia reginae* var. *juncea* (Ker-Gawl.) H. E. Moore

パパイヤ科

パパイヤ *Carica papaya* Linn.

バラ科

ヒメシャリンバイ *Raphiolepis umbellata* (Thunb.) Makino var. *integerrima* (Hook. et Rehd)

パンヤ科

パキラ *Pachira aquatica* Aubl.

トックリキワタ *Chorisia speciose* (A.St.-Hil., A. Juss. et Cambess.) Ravenna

ドリアン *Durio zibethinus* Murr.

バオバブノキ *Adansonia digitata* Linn.

バンレイシ科

チェリモヤ *Annona cherimola* Mill.

アテモヤ *Annona atemoya* Hort.

イランイラン *Cananga odorata* (Lam.) Hook.f. & Thomson

ヒガンバナ科

クンシラン *Clivia miniata* Regel

ハマオモト *Crinum asiaticum* L. var. *japonicum* Bak.

ヒユ科

アルテルナンテラ *Alternanthera ficoidea* (L.) R.Br.ex Roem. Et Schult.

フトモモ科

キンポウジュ *Callistemon speciosus* (Sims) DC.

ユーカリノキ *Eucalyptus* spp.

ピタンガ *Eugenia michelii* Lam.
 バーミリオン |

Eugenia michelii Lam.
 ラバー |

フェイジョア *Feijoa sellowiana* O. Berg.
 |

— 46 —

IV 研究活動

メラレウカ	<i>Melaleuca</i> spp.	
ギンバイカ	<i>Myrtus communis</i> L.	
テリハバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i> Sab.	
キミノバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i> Sab. var. <i>lucidum</i> hort.	
グァバ	<i>Psidium guajava</i> L.	
レンブ	<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	黒金剛
	<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	黒珍珠
	<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	香水
	<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	ジャワ
	<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	チトラ
	<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	天霸王
	<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	飛彈
ミズレンブ	<i>Syzygium aqueum</i> Alston	
フトモモ	<i>Syzygium jambos</i> (L.) Alston	
ジャボチカバ	<i>Myracia couliflora</i> O.Berg	
グルミチャマ	<i>Syzygium dombeyi</i> Skeels	
ベンケイソウ科		
カゲツ	<i>Crassula portulacea</i> Lam.	
カランコエ	<i>Kalanchoe blossfeldiana</i> Poelln.	
ホルトノキ科		
ナンヨウザクラ	<i>Muntingia calabura</i> Linn.	
マメ科		
ソウシジュ	<i>Acacia confusa</i> Merrill	
ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> Durazz.	
バウヒニア	<i>Bauhinia</i> spp.	
カリアンドラ	<i>Calliandra</i> spp.	
コバノセンナ	<i>Cassia coluteoides</i> Collad.	
ナンバンサイカチ	<i>Cassia fistula</i> L.	
サンゴシトウ	<i>Erythrina</i> × <i>bidwillii</i> Lindl.	
アメリカデイコ	<i>Erythrina crista-galli</i> L.	
マルバデイコ	<i>Erythrina crista-galli</i> L. 'Maruba-Deiko'	
ヒスイカズラ	<i>Strongylodon macrobotrys</i> A. Gray	
タマリンド	<i>Tamarindus indica</i> Linn.	
モンキーフラワーツリー	<i>Phyllocarpus septentrionalis</i> Donn. Sm.	
ミカン科		
シロサボテ	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	EdgeHill
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Rinchar
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Fournoy
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	white
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Yellow
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Vista
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Columbia
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Malibu
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	MaxGolden
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Fallbrook
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Kagi
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Ortege
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Selck
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Candy
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Rixford
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	マーブル
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	ミシエル
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	ライニキコマーシャル
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	バーノン
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	スマザーズ
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	スーベル
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	パイク

	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	スナイダー
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	クシオ
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	チェストナット
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	チャールズアーリー
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	ゴールドングローブ
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	グエン
	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	モルツビー
フィンガーライム	<i>Citrus australasica</i> F. Muell.	Mia Rose
	<i>Citrus australasica</i> F. Muell.	Red Sparkling
ワンピ	<i>Clausena lansium</i> (Laur.) Skeels	
ミソハギ科		
メキシコハナヤナギ	<i>Cuphea hyssopifolia</i> H. B. K.	
ハナヤナギ	<i>Cuphea micropetala</i> H. B. K.	
ムクロジ科		
リュウガン	<i>Euphoria longan</i> Lam.	潤蒂
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	福眼
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	粉珍
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	粉殻
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	菱角
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	タイウエン
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	サキップ
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	itoh
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	puanglay
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	ponyai
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	Daiamond river
ライチ	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	玉荷包
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	黒葉
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	桂味
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	糯米滋
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	大丁香
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	翠玉
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	麝瑰紅
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	皇帝
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	小葉
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	中葉
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	篤姫
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	佐多在来
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	船乗り
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	San poaw coew
ランプータン	<i>Nephelium lappaceum</i> Linn.	
モクセイ科		
シマトネリコ	<i>Fraxinus griffithii</i> C.B. Clarke	
ハゴロモジャスミン	<i>Jasminum polyanthum</i> Franch.	
モクマオウ科		
モクマオウ	<i>Casuarina stricta</i> Ait.	
ヤシ科		
アcantofイラ	<i>Aiphanes acanthophylla</i> (Mart.) Burret	
ユスラヤシ	<i>Archontophoenix alexandrae</i> (F.J. Muell.) H. Wendl. et Drude	
ビンロウジュ	<i>Areca catechu</i> L.	
ジョオウヤシ	<i>Arecastrum romanzoffianum</i> (Cham.) Becc.	
サトウヤシ	<i>Arenga pinnata</i> (Wurmb) Merrill	
クロツグ	<i>Arenga tremula</i> (Blanco) Becc. var. <i>engleri</i> (Becc.) Hatus.	
ボンネッティー	<i>Butia bonnetii</i> (Becc.) Becc.	
ブラジルヤシ	<i>Butia capitata</i> (Mart.) Becc.	
クジャクヤシ	<i>Caryota mitis</i> Lour.	
チャボトウジュロ	<i>Chamaerops humilis</i> L.	
アレカヤシ	<i>Chrysalidocarpus lutescens</i> H. Wendle.	

IV 研究活動

デュシアナ	<i>Coccothrinax dussiana</i> L. H. Bailey	
ココヤシ	<i>Cocos nucifera</i> L.	
テーブルヤシ	<i>Collinia elegans</i> (Mart.) Liebm. ex Oerst.	
シロロウヤシ	<i>Copernicia alba</i> Morong	
ヒメシヨウジョウヤシ	<i>Cyrtostachys lakka</i> Becc.	
ベガニー	<i>Drymophloeus beguinii</i> (Burret) H. E. Moore	
ケンチャヤシ	<i>Howea belmoreana</i> (C. Moore et F. J. Muell.) Becc.	
ヒロハケンチャヤシ	<i>Howea forsteriana</i> (C. Moore et F. J. Muell.) Becc.	
マルハウチワヤシ	<i>Licuala grandis</i> H. Wendl.	
シナビロウ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R. Br. ex Mart.	
ビロウヤシ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R. Br. ex Mart. var. <i>subglobosa</i> (Hassk.)	
オガサワラビロウ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R. Br. ex Mart. var. <i>boninensis</i> Becc.	
トックリヤシ	<i>Mascarena lagenicaulis</i> L. H. Bailey	
トックリヤシモドキ	<i>Mascarena verschaffeltii</i> (H. Wendl.) L. H. Bailey	
ヴェデリアヌム	<i>Microcoelum weddellianum</i> (H. Wendl.) H. E. Moore	
ミツヤヤシ	<i>Neodypsis decaryi</i> Jumelle	
キリンヤシ	<i>Phoenicophorium borsigianum</i> (K. Koch) Stuntz	
カナリーヤシ	<i>Phoenix canariensis</i> hort. ex Chabaud	
ナツメヤシ	<i>Phoenix dactylifera</i> L.	
カブダチソテツジュロ	<i>Phoenix reclinata</i> Jacq.	
シンノウヤシ	<i>Phoenix roebelenii</i> O'Brien	
サトウナツメヤシ	<i>Phoenix sylvestris</i> (L.) Roxb.	
ヒメヤハズヤシ	<i>Ptychosperma elegans</i> (R. Br.) Blume	
シュロチクヤシ	<i>Ptychosperma macarthurii</i> (H. Wendl.) Nichols.	
カンノンチク	<i>Rhapis excelsa</i> (Thunb.) A. Henry	
シュロチク	<i>Rhapis humilis</i> Blume	
フロリダダイオウヤシ	<i>Roystonea elata</i> (Bartr.) F. Harper	
サバルヤシ	<i>Sabal</i> spp.	
ヤエヤマヤシ	<i>Satakentia liukuensis</i> (Hatsu.) H. E. Moore	
コバナクマデヤシ	<i>Thrinax parviflora</i> Swartz	
マニラヤシ	<i>Veitchia merrillii</i> (Becc.) H. E. Moore	
ウイニン	<i>Veitchia winin</i> H. E. Moore	
タケウマキリンヤシ	<i>Verschaffeltia splendida</i> H. Wendl.	
オキナヤシ	<i>Washingtonia filifera</i> (Linden ex Andre) H. Wendl.	
オキナヤシモドキ	<i>Washingtonia robusta</i> H. Wendl.	
ヤマノイモ科		
イエローギニアヤム	<i>Dioscorea cayenensis</i> Lam.	
トゲドコロ	<i>Dioscorea esculenta</i> (Lour) Burk.	
ダイジョ	<i>Disocorea alata</i> L.	
ヤマモガシ科		
マカダミア	<i>Macadamia integrifolia</i> Maiden et Betche	クーパー
ステノカーパス	<i>Stenocarpus sinuatus</i> (Loudon) Endl.	
ヤマゴボウ科		
オンブー	<i>Phytolacca dioica</i> L.	
ユキノシタ科		
サラサウツギ	<i>Deutzia crenata</i> Sieb. et Zucc. f. <i>plena</i> (Maxim.) C. K. Schneid.	
ユリ科		
キダチアロエ	<i>Aloe arborescens</i> Mill.	
アロエ	<i>Aloe</i> spp.	
ハラシ	<i>Aspidistra elatior</i> Blume	
オリズラン	<i>Chlorophytum comosum</i> (Thunb.) Jacques	
十二の巻	<i>Haworthia fasciata</i> (Willd.) Haw.	
ソキアリス	<i>Ledebouria socialis</i> (Bak.) Jessop	
ラン科		
ホウサイラン	<i>Cymbidium sinense</i> (Andr.) Willd.	
オンシジューム	<i>Oncidium</i> spp.	

バニラ	<i>Vanilla planifolia</i> G. Jacks.
	<i>Vanilla albida</i> Blume
トックリラン	<i>Beaucarnea recurvate</i> Lem.
リュウゼツラン科	
リュウゼツラン	<i>Agave</i> spp.
センネンボク	<i>Cordyline terminalis</i> (L.) Kunth
センネンボク	<i>Cordyline terminalis</i> (L.) Kunth
ベニフクリンセンネンボク	<i>Doracaena concinna</i> Kunth
シロシマセンネンボク	<i>Doracaena deremensis</i> Engl.
ギンヨウセンネンボク	<i>Doracaena sanderiana hort.</i> Sander ex M.T.Mast.
レフレクサ	<i>Dracaena reflexa</i> Lam.
ハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain ‘Hahnii’
トラノオ	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain ‘Laurentii’
ゴールドデンハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain ‘Golden Hahnii’
ワサビノキ科	
モリンガ	<i>Moringa oleifera</i> Lamarck

4) 入来牧場

・トカラ馬 (*Equus caballus*)

日本に現存する8種類の在来馬の一つで、1953年9月に鹿児島県の文化財として天然記念物に指定されている。鹿児島大学附属農場入来牧場では、令和1年度現在、推計45頭のトカラ馬を保有している。トカラ馬は完全な野生化状態で導入されており、頭数維持は自然交配自然分娩によって行われている。平成27年3月に加えて、平成28年11月に馬伝染性貧血検査のため全頭採血を実施し、全頭頸部皮下に個体識別チップを埋め込んでいる。

・口之島野生化牛 (*Bos Taurus*)

日本に現存する2種類の在来牛の一つで、鹿児島県十島村に生息している。口之島野生化牛は絶滅の危機に瀕しているため、鹿児島大学において保護と増殖のための取り組みを行っている。近年の十島村における正確な生息頭数は不明であるが、鹿児島大学農学部附属農場では、9頭を保有し、保護している。平成28年度以降は、純粋口之島野生化牛の流死産が発生したため、産子を得ることができなかったが、平成30年11月および12月の受精卵移植により、純粋口之島野生化牛の産子が計2頭、受胎していることが確認されている。慎重に飼養管理を行い、新たな産子の確保に努めていきたい。